

ゆき や がわかるまいまち く のへむら
 二級河川雪谷川軽米町～九戸村

河川災害復旧助成事業他1事業

受賞機関 岩手県二戸地方振興局土木部

はじめに

雪谷川は、岩手県九戸村雪屋地区を源流とし、軽米町中心部を貫流しながら瀬月内川と合流するまでの流路延長約30km、流域面積約180km²の二級河川である。

平成11年10月27日～28日にかけて岩手県北部を襲った豪雨により、雪谷川はほぼ全域で氾濫し、特に、軽米町では、住宅被害が町全体の2割近くにおよぶなど、被害総額240億円を越える大災害となった。

災害復旧にあたって、原形復旧するだけでは十分な治水安全効果が期待できないため、上流部では、河川災害復旧助成事業（助成事業）を導入して改良復旧を実施することとした。下流部では、この助成事業による流量増に対応するため、河川災害復旧等関連緊急事業（復緊事業）を導入し整備を行った。



事業の概要

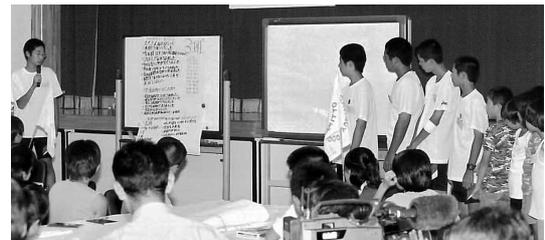
	助成事業	復緊事業	全体
延長	14.63km	3.69km	18.32km
護岸工	187千m ²	33千m ²	220千m ²
橋梁架替	19橋	6橋	25橋
事業費	105億円	83億円	188億円
事業期間	平成11年度～平成16年度		

事業の特徴

(1) 住民参加の川づくり

雪谷川のあるべき河川整備について検討を行うことを目的として「雪谷川河川整備懇談会」を組織し、さらに、住民の意見を汲み上げ各地域の詳細な計画について議論を行うために「分科会」も組織した。

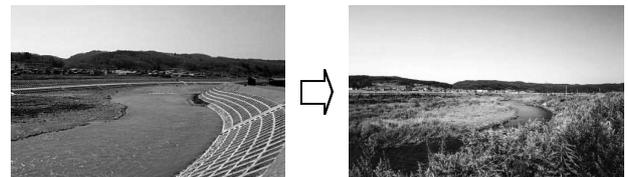
また、町の将来を担い今後も川と接していく地元の子供達を対象に「雪谷川子供サミット」「中学生ワークショップ」を開催して意見・提案を聞くなど、住民の意見を反映させた設計・施工に努めた。



子供サミット

(2) 多自然型川づくりの取り組み

現況の河川法線を重視し、ショートカットする場合でも、現河川を取り込んで多様な河川環境を保全するとともに、魚や底生生物が自由に移動できるように全断面緩傾斜落差工とした。



工事完成直後

2年経過後

おわりに

環境ブロックを含む改修区間の植生は、施工後2年程度で概ね回復しており、河川環境が良好に保全・復元されている。また、地域住民が主体となった河川愛護活動が盛んに行われるなど、「人と自然が共生しみんなでささえ育む雪谷川」となっている。

賛助会員 (株)アイ・エヌ・エー、(株)安部工業所、オリエンタル建設(株)、(株)東京建設コンサルタント、日本鋼強コンクリート(株)、(株)日本ピーエス、(株)ピーエス三菱